

まちとしよ

～大石田町立図書館 information～

☎電話 / 35-3877

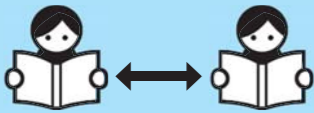
公式HP / <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library/index.html>



“みんなでのりきろう”

- 開館時間 午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）
- 休館日 毎週木曜日・特別整理期間ほか 《9月の休館日》3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(木)

間隔を空けてご利用ください。
2階の閲覧席も利用できます。



長時間の滞在はお控え下さい。



マスクの着用・マイバック持参
のご協力をお願いします。



※感染拡大の状況により変更する場合があります。最新の開館・サービス状況については、図書館公式ホームページをご覧ください。

川の防災や水害に関するインターネット情報源を紹介します。

- 国土交通省「川の防災情報」 URL: <http://www.river.go.jp/kwabou/ipTopGaikyo.do>
身近な雨の状況、河川の水位情報やカメラ画像など、リアルタイムでお知らせするウェブサイトです。
- 国土交通省「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ) URL: <https://suiboumap.gsi.go.jp/>
知りたい場所の洪水による浸水リスクを調べられます。
- 国土交通省「ハザードマップポータルサイト」 URL: <https://disaportal.gsi.go.jp/>

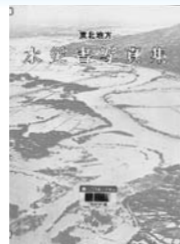
今月は、どの本を読む？

特集「水害を経験し、水害を知る」

今回の最上川の氾濫による被害は甚大なものでした。今一度水害や災害への知識を深め、防災意識を高めませんか。



『命を守る水害読本』(命を守る水害読本編集委員会編著、毎日新聞出版刊)
水害で直面する「はじめての避難」に役立つ情報を提供する一冊。災害心理学、水害レポート、気象の基礎知識、水害のメカニズム、減災への取り組み等も収録。



『東北地方 水災害写真集』(建設省東北地方建設局編・刊)
昭和20年代頃から昭和50年代までの東北地方の主要な河川の水害をまとめた写真集。最上川や北上川、阿武隈川などの過去の水災害の様子がわかる貴重な一冊。



『ドキュメント 豪雨災害 西日本豪雨の被災地を訪ねて』(谷山 宏典著・山と溪谷社刊)
なぜ人は逃げ遅れるのか。ドキュメントで西日本豪雨の被災現場をリアルに再現すると共に、災害心理学の専門家等へのインタビューを収録。豪雨災害の実態を伝える一冊。



『シニアのための防災手帖』(三平 洵監修、産業編集センター刊)
「災害関連死」や「災害直接死にも繋がる避難行動」などから、シニアの命を守るために必要な50のポイントをまとめる。日常編から被災生活編までの区分あり。



『どんな災害でもお金とくらしを守る』(清水 香著、小学館クリエイティブ他刊)
被災して命が助かったあと、必要になるのはお金です。「被災直後」「生活再建時」「平時にできること」の3段階で必要になるお金の知識を、Q&A形式で紹介。



『いざというとき自分を守る 防災の本 3』(防災問題研究会編、岩崎書店刊)
避難場所や、避難先での過ごし方のほか、健康の守り方、自宅の片づけ、ボランティアなどについて小学生向けに解説。

※すべて町立図書館蔵書

大石田町職員採用試験案内

～あなたの熱意を町の力に～

募集職種	一般行政職(初級)
採用予定人数	若干名
受験資格	平成3年4月2日以降に生まれた者で高等学校卒業以上、または令和3年3月31日まで卒業見込みである者で、採用された場合に大石田町内に居住できる方。
試験日程	【一次試験】 11月15日(日) 場所: 大石田町役場 ・教養試験 ・作文試験 ・職場適正検査 【二次試験】 12月中旬予定 (詳細は一次試験合格者に通知します)

受験手続

【申込書請求】 受験申込書は、町ホームページからダウンロードまたは町総務課総務グループで交付します。なお郵便で請求する場合は、封筒の表に朱書きで「採用試験申込用紙請求」と明記してください。封筒には、宛先を明記し140円切手を貼った返信用封筒(角2サイズ)および電話番号等連絡先を記載した用紙(様式は問いません)を同封してください。

【受験申込】 受験申込書等の必要書類をそろえて、9月1日(火)～9月30日(水)に下記へ申し込みください。郵送の場合は、当日消印有効です。
〒999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町1番地
大石田町総務課 総務グループ ☎35-2111(内線212)

平成13年度採用

あおき やすひろ
青木 康宏 (産業振興課 主査)

農業に欠かせない農道や用排水路などの整備や維持管理について、農家の方と話し合いながら仕事をしています。
農家の方たちの話を聞き、一緒に困りごとを解決していけるやりがいのある仕事だと感じています。



平成20年度採用

さとう てるゆき
佐藤 輝幸 (総務課 主任)

町民の方からの要望に対して、限られた予算の中で「どうやったらできるか」をそれぞれの事業の所管課と一緒に考え、事業を形にしていこうと緊張感と共にやりがいを感じます。



平成30年度採用

おくやま しほ
奥山 志保 (教育文化課 主事補)

子ども達が毎日使用する教科書の供給や、学校保健に関することなど、子ども達の学校生活に直結する業務のため、責任とやりがいを感じています。

